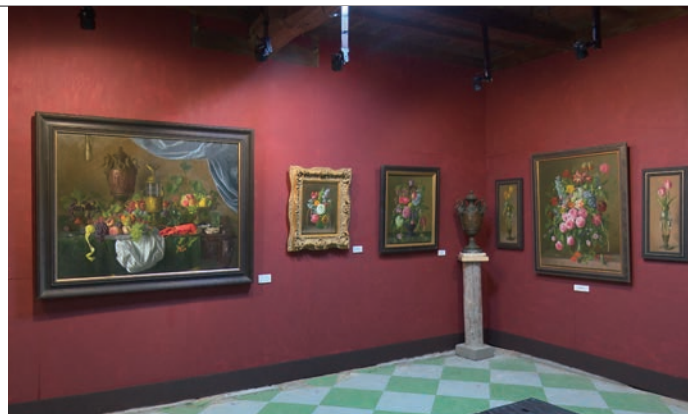


とくしま魅カスポット

徳島県内のキラッと光る商品や技術にスポットを当て、創造の現場から発信される声や笑顔そしてこだわりの品々をレポートします。

ギャラリー玉有

小松島市出身、東京都大田区在住の油絵画家である玉有万範さん。4年前に実家の納屋を改装し、毎年5月にご自身の作品を飾り、個展を開いています。今回は、そんな玉有さんの素顔に迫りました。



今回（5/17迄行われていた油絵展）は、ギャラリーの内装をヨーロッパの美術館風に塗り替え前回よりも多くの作品が展示されました。

◆東京で活躍している玉有さんが、小松島でギャラリーを作ったわけは？
 大好きなふるさと徳島の小松島の人々に、何か恩返しをしたい、自分のできることで元気を贈りたいとの思いから始めました。実家の納屋を、4年前東京から一時帰省した時に、妻と片付け、一から改装し、まずは、2階部分と下半分をギャラリーにしました。大変でしたが、結構楽しく作れましたよ。

「どこかを借りて大きくやったらいいのに」という声も沢山頂いているのですが、ふるさとの地で開きたいという思いもありましたし、コーヒーを飲まないで見られないとか、わざわざお金を出して見に来て頂くのも：とも思っていました。自宅でできる気軽さもありますけど（笑）
 分かりにくい場所にあるのが難点ですが、軽い気持ちで見に来て頂きたいと思っていますのです。



「細部までこだわっちゃうんだよね～」と話す玉有さん。全体のバランスを考えながらも細かな点に気を配っています。

◆油絵を描く上で、特に大事にしていることはありますか？
 一つの作品を書き上げるまでの一瞬一瞬のプロセスを大事にしています。例えば、魚や花、骨董品など、モデルとなるものを自分で探し、選び、用意しています。そしてそれを見ながら鉛筆デッサンを行った上で油絵を描いているところですかね。あとは、作品一つの中にも少し遊びを加えています。

◆例えばどんな？
 風景画の中にちよこんと猫を入れてみたり、小さな虫を入れてみたり、ちよつとした仕掛けをつ

くっています。虫眼鏡でそういうものを探しながら見て頂くと、また新しい楽しさがあると思います。

絵のことはよくわからないという方にも、説明書きがなくても楽しんで頂けるようにわかりやすい絵を心がけています。

◆ギャラリー玉有を、今後どのようにしていきたいですか？
 体が続く限り、毎年この季節には行っていくたいと思っています。秋も草刈に帰省する予定なので、コスモス畑とともにまた油絵展ができたらいなと思っています。2回、3回と回を重ねていくことに、いつも同じだと飽きてしまうので、変化をつけて、ギャラリー自体も色々と工夫をしていきたいし、新しいものもどんどん描いていきますよ。

◆最後にメッセージを
 阿南市や徳島市、鴨島など、県内各地から毎回

来てくださっている方もいて、本当に感謝しています。場所がわからないという方は、お電話頂ければご説明しますので、お気軽にご連絡頂ければと思います。次回は、秋桜の咲く頃になると思います。また、11月3日から一週間は「大田区在住作家展」というのを、東京・大田区のアプリコで開催します。遠いですがお近くにお越しの際はぜひお立ち寄り下さい。



ギャラリー玉有

小松島市坂野町楠塚
 TEL.0883-25-4666

入館料/無料

※年2回ほど開放